

## うつわから 広がる食育 ⑦

資源と環境の教育を考える会『エコが見える学校』  
関東学院大学非常勤講師

三信化工株式会社

## 海老原誠治

えびはら せいじ

佐賀大学物理学科卒業、佐賀県立有田窯業大学校・  
常勤講師を経る。

# 割れる、繕い、そのことの価値

## 失敗の価値

勝ち組・負け組、Win-Loseなどの言葉が氾濫し、『失敗は成功のもと』など伝記物などで聞き飽きたたくさんのセリフ、気がつけば姿を潜めます、いつからでしょう。

現代では負として避けられる失敗。再び価値を与えたのはスティーブ=ジョブズではないでしょうか。自らが中心となり起こしたappleから実質追放されるも、後に存続危機にまで低迷したappleへ復帰、立て直すだけでなく、iPhoneを世に送り、世界一の資産価値へと導きます。私事ですが、無職・職安訓練所を経た身には、背を押すリアルタイムの『生きた伝記』でした。



▲漆と金で繕われた抹茶茶碗  
►葉っぱで繕った給食器  
『ラッキーリーフ』を汁椀で  
見つけた女子児童  
(東京都江戸川区立東小松川  
小学校)

## 修復と修繕、繕い

現代では物が壊れ、破れ、車が傷ついたらしくすると、その痕跡を「恥ずかしい・みっともない・みすぼらしい」と言って、新品のように“復元”します。傷は忌むべき物でしょうか。傷を負った物や人は、価値がないのでしょうか。

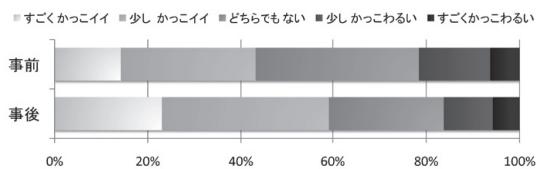
陶磁器が割れたりヒビや欠けた際、その部分を漆で接着、時には補い埋めて、金や銀の粉で仕上げる修繕技術が日本には伝わります。「金継ぎ・金繕い」といい、傷を隠さず、それだけが持つ経緯自体を加飾とし、美を引き出します。傷つくだけならづらいですが、それを経て経験や深みになれば、無傷より尊いかもしれません。

学習指導要領解説（意訳・抜粋）に、繕いにつながる部分を見つけました。特別活動・学級活動「自主的実践的な活動から失敗した経験を生かし・さらに挑戦し、経験から学んだことを発展」「自分のよさや可能性を発見し、将来の夢や希望・目標に向かい、くじけない努力」「繰り返し大切に使い生産と消費を理解」、道徳・3～4年「今よりよくなりたい願い・自分で決めたことへ努力し粘り強く諦めない」、5～6年「希望と勇気をもち、困難があってもくじけず努力」。





図 『われたらばづる』前後での、修復した物への意識変化 (n=381)



## 失敗を考えること

学校で展開する繕いプログラムでは、少しだけ欠けた器を、わざと破損箇所がわかるようにパッチで繕い、再び給食で使用してもらいます。「繕いを見たら考えてね。なんで壊れちゃったのかな、もし乱暴に扱ったのなら『ごめんね』って思ってほしいんだ。そして、たとえ傷つき壊れても、捨てる以外にできることを考えてね」。

江戸川区立東小松川小学校でも、栄養教諭の佐藤寿子先生により『ラッキーリーフ』と名付けた繕いが展開されます。数が限られていますが、葉の模様で繕われた給食食器を見つけて報告してもらうことで、その意味を繰り返し認識する場とする取り組みです。「大切」を考える全校集会と合わせたことで、破損の際の児童態度が変化し、破損自体も低減しました。

8月号紹介の『われたらばづる』では、ワークショップの前後で、右上のような意

識変化が見られました。修復した物を「かっこいい」と感じる子どもが増えています。「直した物は元のような感じにならないけどまだ使えるんだなと思った（11歳）」「お茶碗が欠けても直して使えばいいんだよ（9歳）」という感想もありました。

いつしか失敗や諦めないことは格好悪く、みっともない・ケチくさいと、修復や大切にすることなどが、避けられるようになりました。しかし社会を見れば、飽食で豊か過ぎる一方、貧富の差・枯渇する資源・義務とプレッシャーが拡大します。ジョブズや繕いだけでなく、失敗や傷に向き合う生きた教材、食育の中を探索中です。

※『いただきます.info』食育の情報発信開始！  
<http://itadakimasu.info>

### 知りたい！ うつわと食のミニ知識

#### 『レミーのおいしいレストラン』

映画『レミーのおいしいレストラン』の制作はピクサー。レミー＝ネズミが人間に嫌われながらも料理する物語で、食育にも大変お薦めです。しかし、映画の中で何度も強く繰り返される『料理は誰にでもできる= Anyone can cook』という言葉には、もう一つの物語、映画の舞台裏が重なります。

前述ジョブズはapple追放の後、CGアニメの先駆け、ピクサーを立ち上げます。ピクサーは経営基盤と配信先が弱く、優れた制作力だけでディズニーへ作品を提供しますが、契約が不利であることからやがて対立。決別と思いきや、なんとピクサーを評価するディズニーの株主たちから強い支持。結果、買収の形ながら、ジョブズとピクサー関係者は、ディ

ズニー筆頭株主と関係部門トップに就任、新たな息吹となります。

この翌年に同映画は公開されます。「どんな背景でも限界を他人に決めさせない・諦めなければ何でもできる・誰にも可能性がある」、まるでこの映画は、ネズミの姿を借りたピクサーの自伝です。『料理は誰にでもできる』、[料理]を各自の夢に置き換えられるよ、とネズミはささやきます。



レミーのおいしいレストラン MovieNEX  
11月26日発売  
©2016Disney/Pixar  
発売／ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン